

## 第14回放射光学会年会・合同シンポジウム 学生会員口頭発表賞・ポスター発表賞審査結果

プログラム委員長 平谷 篤也 (広島大学大学院理学研究科)

今回の放射光学会年会では、将来の放射光科学を担う学生会員を励ますことを目的として、学生会員を対象とした口頭発表賞、ポスター発表賞を新設しました。審査方法としては、全学会参加者に点数付きで投票していただき最多得点者を表彰することとしました。集計の結果、関連分野はもとより他分野の方からも多くの得点を得た下記のお二人に、口頭発表賞とポスター発表賞を授与することとなりました。なお、口頭発表賞の奥村泰章君はポスター発表(14-P-108 X線1分子計測法のための多層膜ナノ結晶の作製)でも高得点であったことを付言しておきます。

### 口頭発表賞

受賞者 奥村泰章氏 (生物・医学 13-X-13)  
 題目 X線を用いたDNA 1分子極微ダイナミクス計測  
 講演者 ○奥村泰章<sup>1,3</sup>, 佐々木裕次<sup>2,3</sup>, 八木直人<sup>3</sup>,  
 足立伸一<sup>4</sup>, 谷口彬雄<sup>1</sup>  
 所属 <sup>1</sup>信州大工, <sup>2</sup>科技団さきがけ研究21, <sup>3</sup>Spring8/  
 JASRI 実験部門, <sup>4</sup>理研播磨



### 受賞者コメント

本学会に初参加であり、また発表前に大変緊張していた私が学生会員口頭発表賞を受賞できたことは大変光栄に思っています。さらに本学会では、普段はなかなか聞くことのできない次世代放射光光源、及び新規放射光利用法等について話を詳しく聞くことができ、大変楽しかったと思っています。最後に、本賞を受賞できたことは、私にとっては大変励みになりました。ありがとうございました。

### ポスター発表賞

受賞者 高橋由美子氏 (X線回折・散乱 13-P-88)  
 題目 マイクロビームによる反強誘電性液晶層構造の過渡的電場応答  
 講演者 ○高橋由美子, 飯田厚夫<sup>1</sup>, 高西陽一<sup>2</sup>,  
 小笠原豊和<sup>2</sup>, 石川 謙<sup>2</sup>, 竹添秀男<sup>2</sup>  
 所属 総研大, <sup>1</sup>KEK-PF, <sup>2</sup>東工大工

### 受賞者コメント

反強誘電性液晶の特徴の一つは電場誘起相転移ですが、それに伴う層構造変化は複雑で、局所領域の層構造変化過程を、X線マイクロビーム時分割測定法を用いて直接観察することによって、初めてその詳細が明らかになりつつあります。実験結果は従来の認識を越えたものも多く、新たな発見の毎日です。ときめきの液晶ワールド探検には放射光マイクロビームが欠かせない道具となるでしょう。

